

県政報告会

フェイスブック

Facebook 活動報告

(2016年1月1日～2017年1月14日)



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました

1月1日 18:58 · 🌐

元旦といえば辻立ち...

イオンモール前にて新春のごあいさつからスタートしました。

昨年と比べると気候が穏やかでよかったです...

リアクションして下さいました皆さんありがとうございました。今年もよろしくお願いたします！！



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真6件を追加しました

1月6日 13:09 · 🌐

秋田市消防団の出初式に参加しました。

参加...と言っても来賓でなく新入り団員として行進してましたので、ほとんど誰にも気づかれませんでした(ー;)





秋田県議会議員 鈴木健太

1月13日 19:04

【文化施設に関するアンケート】

昨年末、新たな文化施設についてアンケートを実施しましたので結果を報告しておきます。対象者は、H25・H26の2年間に秋田県民会館で約1600名以上の大規模イベントを実施した21の企業・団体で、回答者数は13（61.9%）でした。

Q1（場所：現行案に賛成か？）

賛成：5 反対：5 どちらでもない：3

※参考意見

- ・現地建替以外ならどこでも（空白期間が困る）
- ・駅連結がよい（駅東×2）
- ・郊外、外旭川など

Q2（規模：現行案2000+800に賛成か？）

賛成：7 反対：4 どちらでもない：2

※参考意見

- ・800は児童会館、アトリオンと重複する×2
- ・4000必要 ・1800で十分

Q3（駐車場のクレームを受けたことがあるか？）

ある：7 ない：5 不明：1

※参考意見

- ・「ある」のうち3者は「毎回」または「100回以上」
- ・「ない」のうち3者は「以前は毎回」「以前はあった」

Q4（現地建て替えを前提とした場合、近傍の駐車場が必要か？）

ぜひ必要：4 あれば望ましい：8 不要：1

※参考意見

- ・ニューシティ跡地はありえない
- ・機材搬入用のトラック10台分は必要

Q5（その他自由意見）

- ・解体、建設時の空白期間が大きな問題である×3
- ・収容人数は可変的にしてほしい×2
- ・駅東案なら再開発事業を生かせる
- ・現地案では著名アーティストの招聘は増やせない
- ・2ホールが空調でつながっていると別のイベントを同時開催でき

ない

- ・立体駐車場または地下駐車場がよい
- ・結果的にホール数が減るのは困る

3 所 感

現地建て替えを前提とした場合、やはり駐車場に関する懸念が大きい。「クレームがある」と回答した団体の多くは県外客もターゲットとしたイベントの主催者である。一方「クレームはない」との回答にも「かつては多かった」と注釈をつけているものが多く、知事の「クレームはない」という認識は、常連客や県内客が現状に慣れた結果にすぎないことがわかる。

そもそも現地建て替えに反対するのも県外から広く集客するイベントの主催者であり、これには駐車場の問題だけではなく「空白の4年間」に重大な懸念をもっていることも理由のようである。たしかにその間秋田市内は約1200名の文化会館大ホールが最大という状況になり、吹奏楽などに青春をかける世代が一度も県民会館大ホール級の舞台で演奏せずに卒業してしまうこととなる。またプロモーターにとっても4年間の機会損失は非常に大きく、単純に「目先の4年間」と言い切れないものがある。

現地建て替えは、従来どおりのニーズを満たしていくには最善の選択と考える。しかしこの人口減少時代に200億円の県費を投じる施設である以上は、私たち若い世代としてはこれに何としても県経済の起爆剤としての役割を求めたい。そのためには「舞台設備と楽屋、そして駐車場さえ改善されれば、一流のアーティストを呼び必ず県外からも誘客できる」とする意欲的な事業者の意見を取り入れていただきたいと考える。既に存在するニーズを調和し、無難なものを残すという選択では県経済の発展は見込めないのではないか。



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件を追加しました

— 場所: 秋田拠点センター・アルヴェ

1月20日 17:30・Akita 秋田県 秋田市(日本)・

【あきた航空機産業フェアを見てまいりました】

あきた未来総合戦略の重点プロジェクトの筆頭に挙げられる航空機産業...現時点で本県が技術的に優位なわけではなく、まさに将来を見据えて産業構造の転換をはかろうとするものです。中長期的な成長分野において、高い技術と寡占的な認証制度により立地の不利を克服していこう！という狙いでしょう。

県内でもNadcap(航空宇宙産業における特殊工程作業に対する国際的な認証制度)取得企業が出てきています。目先の損得に惑わされず戦略的経営をしっかりと行い、秋田を引っ張っていける企業をどんどん応援していきたいです。



秋田県議会議員 鈴木健太

5時間前・

【県政協議会が行われました】

県政協議会とは、議会のない時期も原則として月1回程度は行われる、県執行部と議会各会派との協議です。今日は下記の3点について知事から説明がありました。

①1月補正予算(案)

今回の補正予算では、国庫補助事業である土地改良事業86億円や道路・橋りょう事業15億円など総額121億円余りが上程されます。このうち土地改良事業で秋田県が獲得した枠は北海道に次いで全国第2位の額であり、県選出国会議員に頑張っていたいただいたとの知事の弁でありました。

②あきた公共施設等総合管理計画(案)

学校や行政施設など県内586施設について、老朽化や人口減少などを受け、中長期的観点で総合的・計画的に管理しようとするものです。限りある予算で効率よく安全性と利便性を保っていくため、基本的な考え方として「長寿命化」と「統廃合」を掲げております。3月までに総合管理計画を策定、それ以降に個別施設の計画を定めてまいります。これから何十年も秋田で暮らす世代としては甘いこと言ってるわけにいきませんので、しっかり精査していく所存であります。

③県内の経済雇用情勢

11月分統計について報告がありました。有効求人倍率は1.10で高水準を維持。少子化による人材不足もあるのですが、数年前までは「少子化だけど求人はもっと少ない」状況だっただけに、少なくとも雇用状況は改善していると思われます。27年12月末現在における新規高卒者の県内求人数は3,624人で、前年同月比343人増加しています。一方で県内就職希望率が0.1%減となったのが少し気になります。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件を追加しました。

2月4日 23:55

【北海道・東北六県議会議員研究交流大会】

今年は盛岡で開催されました。

意外と県外の議員に会う機会は多くないので、秋田の広域観光連携を強化するためにも隣県の若手議員さんと積極的に交流を図ってまいりました。

分科会では「中小企業振興対策について」に参加しましたが、特に青森県の2つの取り組みにたいへん刺激を受けました。

①リレバン・レポート

<http://www.pref.aomori.lg.jp/san.../shoko/kinyuukyougikai.html>

県内中小企業2,500社に対する調査に基づき、金融機関や商工会など各機関の「地域密着度」を数値で評価・分析して公表するものです。融資や条件変更を断られた率（謝絶率）、納得のいく説明があった率など、各機関が本当に地域のために頑張っているのか！が数字で「見える化」されてしまうので、金融機関側も真剣にならざるを得ません。H20に23.1%だった謝絶率がH26には7.2%まで低下したそうです。

「融資補助の制度を設けたのに民間が借りてくれないからさ～」という他責の態度ではなく、どうやったら融資が活発化するか真剣に考えたこのような取り組みはすばらしいと思います。

②A!プレミアム

<http://www.a-pre.jp/about/>

青森県とヤマト運輸の提携により実現した、スピード・保冷一貫輸送システム。青森～(陸送)～仙台空港～伊丹空港～那覇空港というルートにより、これまで東北に限られていた「翌日午前」エリアが西日本の大部分に広がり、東南アジアすらも翌日圏に取り込み、新鮮な農林水産品の販路拡大に絶大な効果が・・・すばらしくて泣けてきます。しかも「この仕組みを本県だけでなく東北一丸となって生かしてもらいたい」とのこと。これは生かすしかありません。

その他、企業の後継者不足が各道県の共通の悩みであり、事業承継支援策についても議論されました。私も司法書士として県境をまたぐ事業承継（M&A）案件を担当した経験から、必ずしも県単位ではなく東北6県共通のデータベース化など、広域連携になじむ分野なのではないかと提言しました。賛同してくださる議員さんも多かったのですが、「できれば北海道も仲間に入れて頂ければ・・・」との声。すみません忘れていました<(_>)



平成27年度北海道・東北六県議会議員研究交流大会

地方創生と新しい地方経営

法政大学 名誉教授 岡崎 昌之

「地方創生と新しい地方経営」



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました。

2月15日 · 🌐



【健太を励ます会】

県政報告会『健太を励ます会』、昨夜無事に終わりました。大変多くのお客様にお越しいただき、また特別ゲストの橋本五郎さんにも対談していただいて素晴らしいイベントにすることができました。

関係者の皆様ほんとうにありがとうございました！



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました — 鈴木 雄大さん、他3人と📍和風レストラン きりん亭にいます。

2月20日 · 秋田県 秋田県 男鹿市(日本) · 🌐



今日は午後からJA秋田みなみ青年部との勉強会に参加しました。

2時間にわたる報告と意見交換。皆さん真剣でやる気にあふれ、秋田県農業の未来を感じさせてくれる素晴らしい機会でした。

中泉まつじ参議院議員はさすが党農林部会の副部長、中枢の最新情報も生産現場もわかるだけに大変勉強になりました。

同期の佐藤のぶき議員からは県の農政報告。一生懸命勉強しております！





秋田県議会議員 鈴木健太

2月24日・🌐

【2月議会開会中】

15日より始まった2月議会も、本日で8名の一般質問がすべて終わり明日から審議に入ります。前半でH27年度2月補正予算、後半にいよいよH28年度当初予算を議決してまいります。

「あきた未来総合戦略」関連で381億円あまりの予算が組まれておりますが、おおまかに整理すると

①産業振興による仕事づくり 289.6億円

航空機産業の強化、新エネルギー分野への参入、農林水産業の成長産業化や観光を中心とした交流人口の拡大を柱として、多くの事業に予算取りされております。

②移住・定住 6.6億円

奨学金返還助成、新規事業である「ご縁」創出推進事業など。

③少子化対策 32.7億円

出会い・結婚支援事業の拡充、保育料・医療費の助成の拡充(これで21億)、多子世帯向けの新たな奨学金制度の創設などです。

④新たな地域社会の形成 52.0億円

子ども・若者育成支援推進事業と女性活躍推進事業の拡充などですが、大部分は流域下水道事業(33.2億円)が占めます。なぜこれが地方創生戦略なのかはよくわかりません・・

私の所属する産業観光委員会でも多くの事業を所管しますので、これからしっかりとみていきたいと思います。



秋田県議会議員 鈴木健太

2月26日・🌐

【私ではありません。(明言)】

本日発刊の某地元週刊紙に物議をかもす記事が掲載されておりますが、私のことではありませんので明言しておきます。

こういうことには全く関わりたくないのですが、どうも私とすり替えて話を広めようとする動きがあるようで大変腹立たしいので、あえて発表させていただきました。

つまらない策略を練るよりも、自分の行動について疑義が生じたならばはっきり説明するのが議員の責任だと思います。シロかクロかは知りませんが。



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真7件を追加しました。

2月27日・🌐

【田沢湖地域もろもろ視察】

フリースタイルスキー(モーグル)ワールドカップ秋田たざわ湖大会を見たついでに、選手の宿泊先ホテルと今春より『あきた芸術村』と名称変更してインパウンドに乗り出すたざわ湖芸術村を視察してきました。

スキー場には多くの外国人選手・スタッフが見られましたが、実は国外からの観客はあまりいません。昨年・今年と上村愛子様のおかげで人手を保っているのが実情とのことで、やはりまだまだ競技と地域双方の集客力が課題であります。しかしFIS(国際スキー連盟)関係者からは、県が昨年整備したジャッジハウスが『モーグル用としては世界一』のと評価を得ているようで、さらなる有効活用が期待できます。

選手の宿泊先として指定されているホテルは、wifiは整備されたもののやはり語学が課題。県とAIU学生などの支援でようやく対応している状況でした。選手が出払っていて直接話を聞けませんでした。食事や温泉はどうだったのでしょうか...

たざわ湖芸術村では、冬季にも関わらず小劇場での上演に多くのお客様が。台湾人と中国人が増えているそうで、中国人スタッフによる対応も可能になっております。いずれにしても、このへき地(失礼)に立地してこれだけ集客し、県外人も多く含む300人もの雇用を生み出していることはすごい一言です...

角館をはじめとする県南全域が大きく連携し、多くの外国人観光客でにぎわう秋田にしていきたいですね！



秋田県議会議員 鈴木健太

3月3日

【ハピネッツのアリーナに関する審議】

今週は朝から夕まで委員会審議が続いております・・・

書きたいことが山ほどありますが、今回はハピネッツのホームアリーナについて。

すでに報道のとおり、ハピネッツの新リーグ1部参入の条件である「5,000人以上収容のホームアリーナで80%のゲームを行う」をみたすため、秋田市立体育館(現在固定席2,468席)に移動仮設席を設置することとなりました。手動式の移動仮設席は1,680席分で、現在のピロティ(屋外のような屋内のようなところ)を改修してそこに収納します。それにアリーナ席と立見席852席で5,000席。

総事業費は3.6億円、そのうち半分の1.8億円を県が補助するとして予算案に盛り込まれました。これまでのハピネッツの活躍からかこの事業に反対する声はなく、H28年度当初予算として可決される見込みです。

ただ市立体育館でのゲームが増えることで、これまでそこを使用していた団体から懸念の声があがっていることを聞いていたので一応確認してみたところ、たしかにこれまでは全26ゲームのうち市立6ゲーム+県立12ゲームだったのが、今後は全30ゲームのうち市立で24ゲームと激増します。が、昨秋からの市と各団体との意見交換などを経て、県立への振り替えなどにより調整・対応できそうなので心配はない、との回答でした。

行政と関わっていると、どんな良い話でも新しく大きいことをやれば必ず困る人が出るのだなあ、ということを痛感します。可能な限りていねいに理解を得ていかなければなりません。



秋田県議会議員 鈴木健太

3月6日・🌐

【新文化施設をめぐる審議状況】

H28年度当初予算で「文化施設整備推進事業」として初めて1,187万円あまりを計上しました。内訳は現況測量調査359万円、整備計画の策定712万円、推進事務費115万。整備計画→基本設計→実施設計→建設工事(一応予定ではH31着工～H33完成)、という段階を踏みますので、まだまだこれからであります。

私は独自アンケートなど様々な情報収集を経て、現地建て替えが最善とせざるを得ないと考え至っておりますので、かくなる上はその場所でいかに良い施設にできるかに焦点を当てています。敷地が13,000㎡あるといってもお堀側と和洋女子側の立派な保存樹のある土手は含まれているのか？(含まれていない) 道路側との段差はどうするのか？(掘り下げることも含めてこれから検討) 現地を見た限りではかなり狭い印象なので、本当に大型トラックが数台搬入できるような構造になるのか、といった具体的な質問をさせて頂きました。



秋田県議会議員 鈴木健太

3月10日・🌐

【Aターン就職面接会について要望】

来年度当初予算において、「秋田で就職応援団(Aターン)事業」に1,587万円余りが計上されています。その大半が東京のAターンプラザ運営費であり、年2回行っているAターン就職面接会の開催費は26万円余りと少額。かねてより参加企業のみなさんから「求職者の参加が少なすぎる」と不満を聞いていたので質問いたしました。

①H27の参加企業・求職者の数は？

第1回：37社に対し45名

第2回：36社に対し61名

ということで、3時間の開催時間を考えるとけっこう「暇」になってしまった会社もあるのではと推測。

②この開催費には面接会のPR費も含まれているのか？

PRはAターンプラザなどとともに行っているのですが、この他にそのための予算は取っていない(含まれている)。

...ということでしたので、複数の参加企業から県のPR不足について不満を聞いていること、わざわざ企業は人とお金を割いて上京してくれているのだから、さらに努力して多くの参加者を集めないともう出展してくれなくなる可能性もある、と要望しておきました。

H28年度は7月と1月に開催します。

ふるさと定住機構のリンクを貼っておきます(新年度面接会の開催案内はまだ)ので、皆さん機会をとらえて周知ご協力お願いします！

<http://www.furusato-teiju.jp/topics/>

お知らせ | 公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構

秋田県での就職・定住の総合支援情報

FURUSATO-TEIJU.JP



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —
鈴木 健太さんと📍 仙台商工会議所にいます。

3月27日・🌐

【東北インバウンドサミット】

東北6県のインバウンダー(造語)たちが集うサミットに参加してまいりました。

外国人客からすれば秋田県とか宮城県とかはまず関係ないわけで、『日本の北のほうの地域』が面白そうならお客さんがたくさん来るのだ、というのが単純明白な現実です。

外国人宿泊客数は東北6県合わせて日本全国のわずか0.9%...オール東北で戦わねばならないのは言うまでもありません。

個性豊かな各県パネラーの中でも、わが秋田県代表の須崎くんはブレずにクールで論理的でした。ほんとに30才か?(笑)



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件を追加しました —
鈴木 健太さんと一緒にです。

4月5日・🌐

能代山本オープン政治塾『ど本気』のクロストークセミナーに参加させていただきました。

自分の選挙区外ということで、結構好きなことを話させていただきました... (笑)

ところで会場からの質問を紙で提出、という方法はすばらしいと思います。

手を挙げるのは勇気がいりますからね(^_^;)

会場からアリーナや文化施設に関する熱い意見が出ましたので、産業観光委員として現状を説明しました。





秋田県議会議員 鈴木健太

4月8日・🌐

新しいKENTA Report ができました！
市内の一部地域にポスティングさせていただきましたm(_ _)m
オフィスやお店でさりげなく県政活動PRにご協力いただける方がいらっし
ゃいましたら、是非お声がけ下さい。
喜んで持参します！m(_ _)m



秋田県議会議員 鈴木健太

4月14日・🌐

言ってくれました...
やっぱりこの人の発信力は大きいですね。
「選挙に不利だから」これまで言えなかったことを、はっきり言っていくの
が私たちの仕事。
若い世代の皆さん、自民党（とくに若手...）を毛嫌いしないでくださいね！
<(_ _)>

【全世代型の社会保障制度を 自民若手議員らが提言】
<http://www3.nhk.or.jp/n.../html/20160414/k10010478041000.html...>





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました。

4月19日・🌐

【自治体庁舎の耐震化率】

ハコモノにお金をかけるな

という気持ちは私にも結構ありまして、秋田市の新庁舎についてもちょっと贅沢かもね～のようなことを発言してしまったことがあります...

でも今は『とにかく秋田市は安心だな!』と思っている自分がいるのが事実。

この表中に後回しでもよい施設などないのですが、役場にお金かけるなんてただの贅沢だ!という論調が順位に影響しているのは確かでしょう。

現在の宇土市役所や阪神のときの神戸市役所をみれば、庁舎は最優先で整備すべき『ハコモノ』だと痛感します。



秋田県議会議員 鈴木健太

4月25日・🌐

【4月県政協議会】

熊本地震への対応などにつき佐竹知事による説明を受けました。

先日お伝えしたとおり、今は被災地の混乱を避けるため、災害協定等によるほか国や全国知事会からの依頼に基づいて下記の通りの支援を実施しています。これは東日本大震災での混乱を教訓に、各都道府県が各個に熊本と調整するのではなく政府などが集中管理するものです。

秋田県による人的支援

- ①県警ヘリ『やまどり』による初動の情報収集活動(4/19～4/21):警察庁の要請によるもの
- ②医師・看護師等による救護班6名の派遣(4/24～4/30):全国知事会の要請による
- ③応急危険度判定士16名の派遣(4/25～4/29)

少ないな...と直感で感じてしまいますが、都道府県が全部で47あり、近隣から順に手厚く支援していると考えればこれが適正なのかもしれません。他に県内9市町村から飲料水など支援物資が送られております。

個人的に物資を送るのはご法度だったり、いきなりボランティアで押しかけるのは迷惑だと言われたり、純粹に助けたいと思う気持ちを実行するのも簡単ではないですね...



秋田県議会議員 鈴木健太

5月7日・🌐

DISCOVER KAMENOCHO vol.4

に参加してまいりました。

2018年問題

ブランディングは『物語』である

伝統とは思想、技術、習慣

前二者は変えないで習慣を変えていってみよう

才能ある人たちの言葉から学んで役に立てていきたいですm(_ _)m



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真5件を追加しました —

友達: 石川徹さん、加藤 鉦一さん

5月16日・🌐

【秋田県警察学校視察】

県議会教育公安委員会の視察に同行し、近場の視察をしております。

県警察学校では平成18年新設の射撃場を除き、多くの施設が老朽化しているとの報告がありました。

生徒さんたちの振る舞いはキビキビとして規律正しく、見ていて大変気持ちよかったです。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —

鈴木 健太さんと一緒にです。

5月17日・🌐

【SHARE VILLAGE 町村】

本日は総務企画委員会の視察にお邪魔して五城目町に来ております。
ようやく見に来れたシェアビレッジ。築130年を超えるこの古民家を、クラウドファンディングを通じて集まった村民が払う『年貢』によって維持管理し、みんなで楽しく使いましょう！無理矢理一言でいうとこういう感じでしょうか...

世界を股にかけて活躍しているながら五城目町に住んでいる丑田俊輔さん。ひらめいたアイデアをまず小出しに試してみて、うまく行きそうなら集中投資する。『地域には宝がある』と頭ではわかっていながら誰もなかなか実行できないものですが、この辺が実現してしまう人のすごさなんだろうなあ、と納得してしまいました。

私も頑張ります...



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました。

5月18日・🌐

【五城目その2 お互いさまスーパー】

浅見内地区にオープンした『みせっこあさみない』は、過疎地域の買い物難民対策のため、地域住民が主体となって営業する店舗です。この3月に県補助金と住民の寄付金によって開設されました。

仕入れには地元スーパーの『ダイサン』さんなどの協力を得て、地元ボランティアのお母さんたちが運営しています。

この地域は路線バスが廃止され、店や病院のある町までは往復1,000円の乗合タクシーしか移動手段がありません。いま県内3カ所でこの『お互いさまスーパー』事業が進められており、今後の展開が注目されます。

『商圈』は116世帯274名とのことです(°_°)





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました。

5月24日・🌐

【県政協議会】

まもなく始まる6月議会に先立ち、県政協議会が行われました。
主な話題は96億円あまりの補正予算。テレビのニュースでは航空機産業など
新技術開発の促進が取り上げられていましたが、私の注目はインバウンド誘
客の強化に49,000万円の予算がついたことです！

Wi-Fiやカード決済機能の整備促進、外国人の多い東京・京都などへのPR強
化、北東北3県連携の観光ルート構築など。来月に一般質問で言おうかと思
っていたことがかなり盛り込まれていたの、正直どうしようかと思ってま
す...

後から発言しておいて『いや一言い続ければかなうもんですね！』などと自
分の手柄にするわけにもいきませんし...(^_^;)



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真8件を追加しました。

5月26日・🌐

【大館ひとり視察】

一人旅はあまり好きじゃないのですが、誰も付き合ってくれないので行って
きました。

①DMO『秋田犬ツーリズム』

若き福原市長の肝いりで、全国でもいち早く設立に至ったDMO(観光地域作
りのための団体)です。樹海ドームにある事務局へ状況を伺いにいきました。
初年度はターゲットを台湾！と明確に絞り、函館～青森まですでに来ている
台湾からのお客さんを狙います。市の担当者さんの『外国人観光客はもとも
とほぼゼロだから、私たちには伸びしろしかないんで...』との言葉にひそか
にじびれました(´▽`)

②御成座！！(オナリザ)

いや一聞いたことはあったのですが、こんなにすごいとは思いませんでした。
大館の宝です。1952年開館、2005年閉館した映画館...で終わるところだ
ったのが、2年前に関東から転居してきたある家族が復活させました。仕事
の関係で大きめの住居を探してて、家だと思って借りようとしたら映画館だ
った。まあいっかと改装して住んでるうち(ここがすでにおかしい)、地元の
みなさんの希望もあって営業を再開した(電気通信設備やさんなのに)。とい
うハチャメチャなことを館主の奥様がサラッと話してくれました...もっと深
く知りたいです(^_^;)

ちなみに昨年なんと柴崎コウのシークレットライブが行われました。

③秋田犬会館

展示室は4時で閉まってしまい、見られず...



秋田県議会議員 鈴木健太さんが秋田県防衛協会さんの写真をシェアしました。

5月30日・🌐

本日18時開催されます、秋田県防衛協会主催の防衛講演会をぜひ一度聴いてみて下さい。

TV、新聞、ネット、さまざまなソースで報じられているこのテーマについて、長年研究してきた第一線の講師が秋田でお話しする滅多にない機会です。

質問の時間もありますので是非ご参加ください。

ちなみに司会は私です...

防衛講演会

入場無料

平和安全法制の真実

講師：防衛知識の第一人者 田村 重信 氏

■開催日：平成28年5月30日（月）
18:00～19:45（開場17:30）

■場 所：にぎわい交流館AU（あう）
【3階多目的ホール】

◆ 事前に申し込みの必要はございませんが、会場が定員になり次第締め切りとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

■主催：秋田県防衛協会

お問い合わせ先：
秋田県防衛協会事務局
秋田市山王3-1-7 東2ビル407
TEL 018-853-1161

秋田県防衛協会

5月30日・🌐

👍 いいね！

【本日18時開催です！】

平和安全法制について、防衛法制の第一線の研究者が講演を行います。

賛成、反対、いずれの意見にも耳を傾けたうえで日本の平和について考えてみませんか？

申込不要、無料です。

本日18時、にぎわい交流館AUの3階へどうぞ！



秋田県議会議員 鈴木健太

6月2日・📍

【一般質問やります】

6月7日火曜日10:00～@秋田県議会

2度目の一般質問の機会を頂きました！

『未来志向』と『大きな戦略』が共通テーマです。

ご都合のつく方はぜひ傍聴下さい。

予約なしでも大丈夫ですが、事前にご連絡いただければ助かります。

鈴木けんた 一般質問のご案内

と き:平成28年6月7日(火)
AM10:00～11:00頃(9:30までにおいで下さい)

ところ:秋田県議会(〒010-0951 秋田市山王4丁目1-1)

定 員:約200名

- 1 次世代の交通戦略について
- 2 外国人観光客の誘致戦略について
- 3 ICT産業の振興戦略について
- 4 学童保育における待機児童について
- 5 県市連携文化施設について

※内容は若干変更になる場合があります。



電 話:018-883-0605

傍聴(無料)ご希望の方はご連絡ください。



秋田県議会議員 鈴木けんた

〒010-0842 秋田市手形山北町 4-5
TEL 018-883-0605 FAX 018-883-0575



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました —

鈴木 健太さんと一緒にです。

6月5日・📍

【自民党青年局・全国一斉街頭】

本日09:30秋田駅前を皮切りに、市内3カ所で全国一斉街頭行動を行いました。県議同期の40代4人が集結！

私はアベノミクスと秋田県経済というテーマでお話いたしました。

・県の有効求人倍率

2011年:0.57→2016年1月:1.08

・県税収入

2012年:789億円→2015年902億円(見込)

たしかに消費税率UPできるレベルまで来なかったのは事実なのですが...これを失敗だ失政だという方々が政権を担っていた時よりは、はるかに『マシ』になっているのです。

何より、国からお金を引っ張ってくる国会議員が、秋田県の与党に5人いることにどれだけ価値があるか、ということについて訴えました。

多くの皆さんに手を振っていただき、とても勇気づけられました！





秋田県議会議員 鈴木健太

6月7日・🌐



【一般質問おわりました】

いや～ぶじに終わりました。

2回目でもやっぱり緊張しました。

長いですが、1日1項目ずつ全文を掲載します。

動画も明日には見られると思います。

http://smart.discussvision.net/.../pref_aki.../WebView/list.html

①次世代の交通戦略について

いまや国民の二人に一人が使用しているといわれるスマートフォン、いわゆるスマホがこの世に登場したのはいつ頃だったのでしょうか。これが我が国で急速に普及し始めたのはおおむね2010年、今から僅か6年前のことです。それ以前もごく一部で使用されてはいましたが、多くの方がそれまでスマホというものの存在すら気にもかけていませんでした。すでに皆様がお気づきのように、世界の変化するスピードはかつてないほどに速まっており、しかもこれからますます速度を上げていくものと思われる。

これは情報通信技術という分野に限るものではありません。自動車においては2020年、わずか4年後に大手自動車メーカーが自動運転車両の高速道路での実用化を目指して開発を進めております。旅客運送においては、様々な問題点を抱えつつもライドシェア、つまりITを活用した乗り合いタクシーが諸外国において導入され、また大手運送業者も2020年を目途にドローンが荷物の戸別配達を行うことを目指すと明言しているなど、交通・運輸業界においてもすさまじいスピードで技術革新が起きております。

一方で本県の公共交通に目を向けてみますと、今まさに深刻な課題に直面しているといえます。広大な県土と歯止めのかからない人口減少。モータリゼーションの進展で鉄道の旅客数は激減し、バス路線の廃止も相次いでおります。過疎地域では公共交通が途絶え、それがさらに過疎を早めているという現状をみると、この公共交通の改革は、これから人口減少問題に立ち向かう本県の最重要課題に位置付けられるべきと考えます。

「公共交通改革」が求められる理由はもう一つあります。本県における交通事故件数は、平成22年の3,206件から平成27年には2,151件と、県警の事故防止施策や安全技術の進歩などによって約33パーセントも減少しております。しかし、そのうち高齢者の過失に起因する事故は600件から508件と15パーセント程度しか減少しておらず、その交通事故全体に占める割合は一貫して大きくなっております。こうした状況を受け、来年には高齢者の免許更新手続が厳格化されるため、免許の取消や自主返納が増加していくことは避けられません。団塊の世代が後期高齢者となるまであと10年を切り、これから自動車を運転できない高齢者が激増する本県での県民の交通について、知事はどのようなイメージをお持ちなのか伺います。

この激動の時代において、5年後、10年後すら予想するのは困難だと思いますが、しかしだからこそ、まちがいなく直面する「交通弱者の大量発生」という危機に対して、少なくとも最新の情報を収集し、県として次世代の公共交通戦略について研究を重ねていく態勢を整えることが必要ではないでしょうか。今年三月、長崎県の南島原市は観光地における自動走行システムの実証実験を行いました。公共交通の空白地域において、点在する観光資源の活用と山間部を結ぶ生活交通の両立を目指すもので、本県との共通点が非常に多い地域での取組です。本県も過疎化・少子高齢化のトップランナーとして、ぜひとも斬新な、思い切ったチャレンジを検討していただきたいと思います。知事はどのようにお考えでしょうか。





秋田県議会議員 鈴木健太

6月8日・🌐



【一般質問その2】

②ICT産業の振興戦略について

平成24年経済センサスによると、ICT産業の国内売上は約21兆円にのぼり、これは宿泊業と飲食サービス業の合計を上回る規模となっています。また、そのうち本県の売上高は約206億円、全国のわずか0.1パーセントであり、これは47都道府県の中で39位に位置しております。

先ほど申し上げましたとおり、この分野での技術革新はスピードを増すばかりであり、かつてパソコンでつながっていたインターネットの世界が、まもなく片手で持ち歩けるスマホにも広がり、わずか数年でそれも当たり前になって今度は家電や自動車といったモノのインターネット化、いわゆるIoTが進み、近い将来、ほとんどのモノがインターネットに接続される時代が確実に来ると言われております。

知事はすでにこのICT産業の可能性に着目され、第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて「秋田の成長をけん引する企業の育成と成長分野への新たな事業展開」の施策の方向性の5番目として「付加価値の高い情報関連産業の確立」を挙げており、さらに平成26年3月、秋田県情報産業振興基本戦略を策定しております。また、昨年策定したあきた未来総合戦略においては、15ある重点プロジェクトの三番目の柱として「ICT専門人材育成と高度ICT企業の誘致」を挙げ、すでに今月、仙台を拠点とする高度ICT企業の県内誘致にも成功されております。

一口にICT産業と申しまして、その中身はプログラミング、ウェブコンテンツ、3DCG、ネットワーク、サーバービジネスなど、多種多様かつ一般人にはすぐ理解できないような業務内容となっております。私も自分では不得手だから、とこれまで避けて通ってきたというのが正直なところですが、しかし近年の世界の変化を目の当たりにし、もはやこのICTというもの正面から受け止めていかなければ、秋田は日本そして世界からまた取り残されてしまうと思ひ至り、本日あえて知事に質問させていただくものです。

まず、秋田県情報産業振興基本戦略に定めた目標、つまり売上高を平成22年度の約190億円から平成29年度までに380億円に倍増させるという数値目標の、現時点における達成状況とそれに対する知事の所感をお聞かせください。

現在、このICT産業の振興という大事な役割を担う産業労働部商業貿易課情報産業班は、僅か4名で構成されております。この部署が立ち向かっていくICT産業の巨大さ、将来性、可変性そして現在のICT産業戦略が10年後20年後の本県経済に及ぼす影響の大きさを考えると、あまりにも小さいのではないのでしょうか。高度ICT企業の経営者と意思疎通を図り、秋田に目を向けてもらうためには、ICTに関する相当ハイレベルな知識が不可欠ですが、限られた人員でこの業界の最新情報に追いついていくのは容易ではないと思います。他県に先んじ、先行投資のつもりで今から予算や人員を増加すべきではないかと考えます。

首都圏や海外で事業を展開するあるICT企業の経営者が次のように話しておりました。儲かっているICT企業の社長は多くが20代、30代であり、西日本の出身者が多く秋田県人の社長はまず見当たらない。しかし技術者としてみたときに、秋田出身者はとても勤勉実直で信頼でき、人材確保の観点から秋田にはたいへん魅力がある、ということです。現在、県内の大学・専門学校等で情報関連教育を受けている学生は1,100名を超えておりますが、その県内就職率は他の産業に比べ極めて低い状況です。これは県内に就職先を見つけられないことが原因と思われ、それは裏を返せば、県内に有力なICT企業が増えれば、人口流出の抑制に大きな効果が得られるということを意味します。全国的に人材不足となっているICT業界は、これまで海外に外注先や人材を求めてきましたが、やはり言語や感性といった国籍の壁がコストとなることが明らかになり、現在はオフショアからニアショアへ、つまり日本国内の地方が人材供給地として注目を浴びています。

またICTは本来、地理的ハンディが比較的小さい産業です。大災害の多発する現代においては、大都市圏から離隔しているという点はむしろセールスポイントとなりますし、冷涼な気候は空調コストの大きなデータセンターの立地にたいへん有利であり、現に北海道石狩市では市の誘致によって民間企業が巨大なデータセンターを開設しました。これからますます成長していくICT分野は、本県にとって将来まで十分に戦っていける産業です。未来への種をまくつもりで、このICT産業への政策を強力に推し進めて頂くことを期待しておりますが、ICT産業の振興に係る方針や重点的な取組分野、推進体制など具体的な戦略について、知事のご所見をお伺いします。



秋田県議会議員 鈴木健太

6月9日・

【一般質問その3】

③外国人観光客の誘致戦略について

訪日外国人旅行者数が今年2,000万人を超えることが確実視される中、政府は今年3月にまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年にそれを4,000万人まで増やすという目標を明示しました。また中でも、これまで低調だった東北六県での外国人宿泊者数を2020年に震災前の3倍、150万人泊に押し上げることを目指すとされました。本県のあきた未来総合戦略でも、2019年に外国人延べ宿泊者数を倍以上の10万人まで増加させるとの目標を掲げております。現在、本県のインバウンド戦略としては台湾、タイ、韓国をメインターゲットとして誘客を推進しておりますが、この目標10万人の内訳、国籍別の目標はどのようなイメージをお持ちなのか、知事のご所見を伺います。また、団体ツアー客と個人旅行者客(FIT)とでは、どちらに重点を置いて目標達成に向かうのかも併せて伺います。

ご承知のとおり、世界に対して秋田県は知名度が低く、犬の種類として「AKITA」は有名ではありますが、「AKITA Prefectureに行ってみよう」と思う外国人は皆無であると思われる。あくまで外国人が本県を訪れたいという動機は、ある絶景、ある日本食、魅力的な伝統文化や自然体験など、個々のコンテンツ、観光商材に興味を持つことから生じるものです。それも県という枠組みの中だけではなく、東北という地域全体がそれぞれの魅力を結集し、「本州の北の方」くらいの広域でPRして初めて存在感をもつ観光地になるのだと思います。国交省の東北圏広域地方計画においても、「日本の奥の院・東北探訪ルート」と銘打った広域観光周遊ルートの形成を促進することとしております。

そうした流れの中、私は、今年3月に仙台で開催された「東北インバウンドサミット」という会議に参加してまいりました。東北各県からインバウンド関係者150名ほどが集まっていたのですが、本県からは僅か5人しかおりませんでした。実はこの状況を私は予想しておりました。それは同じ日の同じ時間帯に、本県の観光関係者を集めた勉強会が横手市で開かれていたからです。サミットでは各県代表が登壇するパネルディスカッションもありましたが、本県からも若手起業家が参加し、立派に秋田の顔として存在感を放っておりました。これから外国人旅行者を呼ぶため東北六県でまとまろうとしているときに、外側の集まりには顔を出さず県内で集まって会議をしているというのは、何か象徴的な出来事でした。

そこで知事に伺います。インバウンドに関して、他県との連携はどの程度進んでいるのでしょうか。また、これからどのような形で連携を深めていけるのでしょうか。ただでさえ東北自動車道と東北新幹線という大動脈からそれている本県です。他県との協働にはどの県よりも積極的でなければならないと思いますが、現状と展望をお知らせください。

外へ目を向けるということに関連して、もう一点伺います。昨年まち・ひと・しごと創生本部がリリースした地域経済分析システム、通称RESASは、ビッグデータを解析・可視化することにより、各地域・各産業の実態を正確に把握し、政策立案やPDCAを容易にするものです。すでに北海道帯広市では、RESASの分析結果に基づき近接市との連携による外国人観光客誘致事業を開始しました。宮城県日南市では、同じくこの分析に基づいてIT企業誘致政策を実施した結果、3社の誘致と100名を超える新規雇用創出の実績を上げているなど、全国で活用事例が報告されています。外国人旅行客の行動傾向を知ることはその誘致において極めて重要だと思いますが、本県インバウンド関連施策におけるRESASの活用状況についてお知らせください。

次に、DMO（観光地域作りのための組織）への関わり方について伺います。現在、本県では県北部の「秋田犬ツーリズム」を筆頭にいくつかのDMOが活動を始めております。地域ごとのDMOが個々に活動するだけでなく、旅行客側の目線で考えるとやはり複数の県内DMOが協働したり、県境をまたいでエリアとして複数DMOがともに行動する必要があります。そこでの県の役割は非常に重要だと思いますが、各DMOに対する県の働きかけについてどのような考えをお持ちなのか伺います。

この項目の最後として、県の観光戦略策定の必要性について伺います。青森、岩手、山形、宮城いずれの隣県も5年程度の中期観光戦略を策定しております。本県では同様の戦略を策定する予定はないのでしょうか。第2期プランとあきた未来総合戦略の該当箇所に基いて事業を行っているとのことですが、本腰を入れて本県の観光産業を盛り上げるのであれば、やはり観光に特化した戦略を定める必要があるのではないかと考えますが、知事はいかがお考えでしょうか。



秋田県議会議員 鈴木健太

6月10日・📍

【一般質問その4】

④県市連携文化施設について

県はこれまで、全6回にわたり開催された整備構想検討委員会をはじめ、様々な機会に県民からの意見を取り入れてまいりました。この検討委員会には、観光協会、芸術文化協会、観光コンベンション協会、吹奏楽連盟や商店街連盟などたいへん多くの業界団体の代表が参加され、施設の立地や規模、求められる機能など、基本的な事項について様々な意見が交換され、それらを参考に「新たな文化施設に関する整備構想」、「新たな文化施設に関する基本計画」、そして「県市連携文化施設の整備方針（案）」が順次まとめられております。

それらの記録を拝見すると、それぞれの当事者が想定する事業の内容や規模が千差万別な中で、秋田県民会館所在地への建て替えという立地案、そして大ホール2,000席と中ホール800席の規模という結論を導き出されたものと考えます。これはなるべく多くの県民に新しい施設を利用してもらいたいという思いと、周辺への経済波及効果や秋田市の都市計画との関係などを総合的に勘案すると、最良の案ではないかと私も感じております。

しかし一方で、この施設に従来の文化的ニーズをしっかりと満たしていくという機能に加え、交流人口のさらなる拡大という新しい役割を求める者としては、今少し注文させていただきたいことがあります。

昨年末、私は、秋田県民会館において過去に大規模イベントを主催した団体に対してアンケートを行いました。平成25年・平成26年の2年間で入館者が1,600名を超えた事業は合計で67回あり、それらを主催した23団体のうち県と県民会館を除いた21団体へ依頼し、13団体から回答を得たものです。その中で特に目についたのは、駐車場の問題です。知事はかつて、「県民会館で駐車場に関するクレームはない」とご発言されていたと記憶しておりますが、アンケートでは「駐車場についてのクレームを受けたことがあるか」との単純な設問に対して、13団体中「ある」が7団体、「ない」が5団体、「不明」が1団体。そして「ない」と回答した5団体のうち3団体は「以前は毎回のようにあった」など、かつてはクレームを受けていたことを付記して回答しておりました。

このうち県外から多く集客する音楽ライブ事業等を行っている担当者に詳しく話を聞くと、実情はさらに深刻です。県外から来場してくれるお客様は、現実には大部分が自家用車で来ます。少し大きな催し物があると県民会館周辺の駐車場はすぐに満車になり、「近傍をぐるぐると回っているうちに開園時間に間に合わなかった。もう二度とこの会場には来ない。」こうした怒り心頭のクレームを毎回のように受けるというのです。駐車場はいらないという人もいますが、絶対に必要だという人も相当数います。これがお客様を集める施設である以上、出演者側の意見ばかりではなく、直接お客様と接している現場の意見にもっと耳を傾けてみるべきではないでしょうか。予算の都合、敷地の制限、様々な理由はあるのですが、それらはすべてサービスの売手側の事情であり、利用するお客様には関係のない話です。お店側の都合を客の満足よりも優先させるのではなく、素直にお客様の求めるものをどうやって提供しようか、という商売人の視点をもって整備計画の策定にあたっていただきたいと思います。知事のお考えはいかがでしょうか。

具体的には、提案されているニューシティ跡地は遠すぎます。近傍に大きな空き地がないのは事実なので工夫が必要だと思います。旧県立美術館の、建物を解体するかどうかは別として、空いている敷地を有効に利用する、秋田市立図書館の駐車場を立体化して収容車両数を増やす、または新築する文化施設の敷地内に少しでも駐車場を確保するよう設計に留意する、など全力で工夫していただきたいと思います。駐車場については千秋公園の活用にも直結します。自家用車や観光バスが少しでも停めやすくなることで、この市内屈指の観光資源がさらに生きてくるものと思います。

また、機材の搬入搬出口にも大きな改善を求める声が上がっております。現在の県民会館の搬入口は大型車両の取り回しが難しく、その不便さからある大物歌手に二度と来ない、と言われてしまったという話も聞きます。この点は構想検討委員会でも取り上げられているので期待をしておりますが、今一度知事のお考えを伺います。

もう一点、こちらはお願いですが、二つのホール相互の音漏れ対策についてです。大ホールと中ホールが一棟の建物内に存在する場合、空調設備等を通じて互いに音が響いてしまうことがあり、例えば、大ホールでロックコンサートが行われるときは中ホールで舞台演劇などを開催することが困難になるケースもあると聞きます。設計の段階で、こうした細かい現場の意見もできる限り拾い上げて、すばらしい施設を整備していただくようお願い申し上げます。この質問項目を終わります。





秋田県議会議員 鈴木健太

6月12日・📍



【一般質問その5（おわりです）】

⑤学童保育における待機児童について

県内の児童数が減少を続ける一方で、共働き家庭の増加などにより学童保育の登録児童数は増加の一途です。この状況を受けて県も整備事業を進め、県内の放課後児童クラブ数は、平成22年度の193カ所から平成27年度には243カ所と大幅に増加しました。ところが、それでも県内の待機児童は変わらず、昨年からは六年生までを対象児童としたこともあり、全県でクラブに登録できなかった児童は81名に上りました。

私は、実はこの数字にも違和感をもっています。全県で81名という割には身近なところにクラブに入れないというお母さんの声が多いからです。私の地元、秋田市東部は児童数の減少が緩やかで、学校や学年によっては昨年より増加する年もある地域です。転校生や障害児などは特にそうですが、慢性的に放課後児童クラブへ入りづらい状況となっています。これには、子育て支援新制度により施設の面積要件の適用が厳格になるため、定員を逐次減らさざるを得ないクラブが出てきたことも拍車をかけています。

学童保育における待機児童とは、クラブに利用申し込みしても登録できなかった児童を指すとのことですが、私の周辺では近隣の施設が定員オーバーであるためそもそも利用申し込みをしていない、という声が多く聞かれます。利用申し込みをしないのだからそこまで切迫していないのだろう、そのような世帯の子まで待機児童としてカウントする必要性は低い、というのがその定義の理由なのかもしれません。しかし、本県の少子化がすでに危機的状況にあり、様々な手段を講じてもなかなか改善できないという状況を考えれば、この潜在的待機児童ともいべき子どもの世帯、つまり「もし簡単に入れるのなら子どもを学童保育に預け、しっかりと働きにいきたい」と考える親たちの期待に応えることは少子化対策として効果があるのではないかと思います。

平成25年度に実施した県内各市町村によるニーズ調査と、平成27年現在の学童保育の利用率を照らし合わせると、全県平均としては学童保育が深刻に不足している状況ではありません。しかし、秋田市をはじめ一部の市町村では本来のニーズに対して実際の利用率が相当低いところがあり、ここに潜在的待機児童の存在を推測できると思います。

学童保育は一義的に市町村の担うべき役割であり、県としてはそれを補助する立場であると思いますが、定型的な「待機児童」の定義をもって学童保育の充足が達成された、達成されない等と安易に判断するのではなく、さらにきめ細かく、数字に表れない部分に思いを致しつつ、より実効性のある少子化対策を講じていただきたいと思います。それについての知事の所見をお願いいたします。

以上で私の一般質問を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



秋田県議会議員 鈴木健太さん (📍 アゴラ広場)。

6月16日・秋田県 秋田県 秋田市(日本)・📍



【必勝コール動画】

自分の人生において、総理大臣、元パリーグ打点王と並んで壇上に立つとは夢にも思いませんでしたが...(^_^;) 一生懸命つとめました。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —

鈴木 健太さんとアゴラ広場にいます。

7月4日 22:49 · 秋田県 秋田県 秋田市(日本) ·

【小泉進次郎演説会】

司会の大役を務めさせていただきました...

35才のプリンス、演説が神レベルでした(°_°)

また工藤よしのり支部長の発案により、前座で学生さんたちを招いて若者の意見を聞き出しました。

『こういうこと言って』という仕込みはもちろんしなかったのですが、みんな本当にしっかりしてて素晴らしいプレゼンでした！

女性のフィーバーがすごすぎて、私と混ざったのか『健次郎〜！！』との叫び声も(笑)



秋田県議会議員 鈴木健太

7月8日 22:30 ·

【2/3について少し補足します(憲法96条)】

各議院の2/3というのは、憲法改正できる数ではなくて『憲法改正を発議し、国民投票にかける』ために必要な数です。

つまり『まず2/3をとらせないこと』というのは、国民投票にかけさせないようにするためのキャッチフレーズです。

日本国憲法 第96条

この憲法の改正は、各議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行われる投票において、その過半数の賛成を必要とする。



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真5件を追加しました。

7月14日 17:48 · 🌐

【仙北・平鹿地区を視察中】

13日～15日と産業観光委員会の県内調査に出ています。

厳しい経営状況の田沢湖スキー場、インパウンドにおいて秋田を引っ張ろうと意欲十分のあきた芸術村(この2つは冬に個人で視察しましたが...(^_^))、そして300年を超える鈴木酒造店さん(ひでよし)の酒蔵観光の好況などなど...昨日は晴天に恵まれました。

本日は雨の中、大仙市の花火産業構想、テストウィッグで全国シェアトップの株式会社レジーナさん、横手工業団地の日立オートモティブシステムさん、そして浅舞酒造さん(天の戸)の酒造米農家との信頼関係。。やはり現場で学ぶ意義は大きいです！



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —

場所: 📍 中野サンプラザ

7月23日 16:16 · 東京都 Nakano-ku(日本) · 🌐

【Aターン就職フェア視察】

東京中野サンプラザで行われているAターン就職フェアを見に来ました。以前から参加企業のみなさんより様々なご指摘を頂いていたので、現場はどうなのかと...

今回から『フェア』ということで、移住なども含めたより総合的なイベントとしてPR。そのせいか、出だしの人出はまずまずです。

なぜこの場所なんだ！という疑問に対しては、会場使用料が安いというのが最大の理由のようです。たしかにこの面積の会場を丸の内など都心部で借りたら軽く一本超え...限られた予算の中では止むナシなのかもしれません。それよりむしろ『周知』の方が問題。広く首都圏に散らばる県出身者やAターン希望者にアクセスするのは費用的にもかなり大変で、県や各団体のHP掲出が中心となっているのが現状です。今回は最終的に何名が来場して下さるのでしょうか...



 秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真5件を追加しました。
7月24日 12:55

【秋田県食肉流通公社を視察】

本で行われている秋田牛枝肉共励会の様子と食肉加工・流通状況を調査しました。

かつて市町村ごとにあった屠畜場を昭和53年に集約・新設した施設。県内で生産される牛の6割、豚は8割以上を処理しています。

巨大な牛の枝肉の競りが行われていましたが、スーパー種牛『義平福』の活躍？などもあって価格は上昇傾向とのこと。一昨年売り出した新しい統合ブランド名『秋田牛』に、初めは内心ええ〜...と思ってしまった私ですが、決まった以上は応援するしかありません。

みんなで秋田のコメと牛を食べましょう！！



 秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —
鈴木 健太さんと一緒にです。
7月25日 23:54

秋田を変える最先進企業が本社移転してくれました...

自社での雇用創出とか納税だけではなく、来たるべき高度ICT社会での強力なインフラを提供してくれる会社です。

『S2がいるから秋田に進出しようと言ってもらえる会社になる』

...超楽しみです。

からのASEAN次官級交通政策会合。久しぶりに英語で会話したけどかなり錆び付いてる...(°_°)





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました。

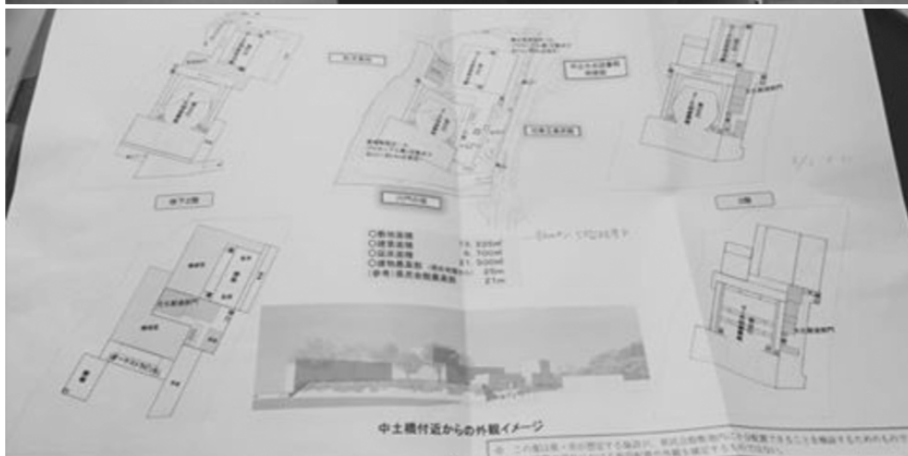
2016年8月3日

【産業観光委員会の臨時招集】

本日県議会産業観光委員会の招集があり、文化施設の配置案などにつき説明を受けました。

『県民会館跡地は狭いのではないか』との声に答える形で、なんとか2,000名と800名のホールをはめ込んだ配置案が提示されました(あくまで建設地は決定でないとの注釈つき(^_^))。

大型トラックの搬入口は地下に潜る感じでかなり改善が期待できそうですが、やはり駐車場は敷地内に50台程度。ただ『近隣に敷地を確保』するため調整するとの説明もあり、しつこく駐車場を求めてきたのが報われるのかも??との期待も持てました...(^^)



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました —

場所: パーティーギャラリーイヤタカ

2016年8月8日・秋田県秋田県 秋田市

本日は『台湾の現状と秋田との交流について』(AIU葉總明教授)勉強しております。

歴史からきちんと学ぶ機会は貴重です...

屋内は涼しくてよいですね...





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました。

2016年8月18日・🌐

【県政座談会を開催中】

今日から来月にかけて、駅東地区を中心に8カ所で県政座談会をやっております！

議員活動の報告と県民の皆さんとの意見交換...やっぱり大事ですね～

予約不要、もちろん無料です。

冷たい麦茶をお出ししますm(_ _)m

(各日16時～17時)

8/18 三吉南町内会館

8/19 手形山会館

8/22 三吉町やまびこ会館

8/23 いーぱる和室

9/1 東地区コミセン

9/6 広面大巻町内会館

9/7 広面谷内佐渡町内会館

9/8 広面赤沼町内会館

開催して下さる地域・団体の方いらっしゃればぜひご連絡ください！





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —

友達: 鈴木 健太さん、佐藤 信喜さん

2016年8月20日 · 🌐

【能代宇宙イベント開催中！】

暑い暑い今日は、朝から能代宇宙イベントの開会式に参加しました。全国から集まった30を超える大学・高校や団体が、18日～25日まで缶サット競技やハイブリッドロケットの打ち上げを行います。

明日21日は一般公開。理系男子や理系女子、そのタマゴたちを育てているみなさんは是非お連れください！ちびっ子たちも楽しめる内容のようです。県が推し進める航空機産業ともつながる宇宙技術。子どもたちが夢のある分野に触れる意義は大きいと思います！



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件を追加しました。

2016年8月25日 · 🌐

【秋田県立総合射撃場】

昨日(誕生日笑)から県議会産業観光委員会の調査で由利・雄勝地域を回っております。最初に訪れた総合射撃場。

トラップ、スキートそれぞれ2面ずつのクレイ射撃場は、わかすぎ国体でも活躍した東北屈指の規模。アジア大会まで開催できるという財産なのですが...鉛害を不安視する一部住民の反対のため現在は『休止』となっています。

定期的な水質調査では基準値の1/10～1/100程度しか流出していないとのこと。また反対するのは近隣の農業者ではなく、直接の利害関係というよりも『銃はいやだ』という心情的な理由で反対されている方が多いようです。

猟友会の会員さんたちもここが使えなくて不便しているそうです。増加するクマ被害に対して猟友会員の減少が続く現状を考えると...

行政には県民の声に耳を傾ける義務があるとは思いますが、『声の大きさ』だけに左右されるのは如何なものかと思いました。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました —

場所: 道の駅うご 端縫の郷

2016年8月25日・秋田県秋田県 雄勝郡・

【地元の反発→相乗効果】

県内調査2日目に訪れた羽後町の道の駅『端縫いの郷』では、フードコートで地元の名物『西馬音内そば』を中心に据えています。今風デザインの店舗で、自らトッピングする〇亀製麺方式(笑)が好評です。

町内には既存のそば屋さんもあり、構想段階で当然『民業圧迫』との声がありました。しかしいざ開店してみると、端縫いの郷で西馬音内そばを知ったお客さんが『地元の店でも食べてみたい』となり、なんと既存店が連日満員だそうです。

観光でも何でもそうですが、小さい世界で目先の損得を追求してしまえば外からのお客さんが増えるわけありません。損して得とれ！の商人魂が秋田にもっと必要だと感じます。

ところで私も知らなかった西馬音内そば、ほんとに美味しいですのでみなさん是非！



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —

鈴木 健太さん、鈴木 雄大さんと 函館朝市にいます。

2016年8月29日・

【函館のインバウンド活況】

人口26万人台の函館市は、国際観光都市としての地位を固めつつあります。比較すると

・ 外国人観光客の宿泊数(H27)

函館市 40万人泊

秋田『県』 6万人泊

・ 国際航空定期便

函館市

台湾5～6便/週、

中国天津2便/週

秋田県 なし

市町村の魅力度ランキングでも1位の常連として、国内外から多くの観光客を集めています。観光消費額は1,000億円を超え、雇用誘発効果も15,966人と算出しているのですが...

今回私が気になっているのは、『こんなに活況なのに、少子化や人口減が全く止まっていない』ということでした。

難しい。



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真7件を追加しました —

場所: いーぱる

2016年9月1日・秋田県秋田県 秋田市

【秋田市総合防災訓練】

台風10号の被害により亡くなられた皆様に心よりお悔やみを申し上げます。

今日は9月1日。93年前の今日発生した関東大震災を教訓に防災の日となっています。私は地元広面のいーぱる(東部市民サービスセンター)の会場を見に来ました。

体育館の避難所開設、赤十字奉仕団と自衛隊による炊き出しだけでなく、ガス・水道などインフラの復旧訓練や災害時通信の確保、はたまた動物の収容所まで...とても実践的な訓練でビックリしました。

こうした不断の取り組みが万が一のとき被害を最小限にとどめるのですね。



+4



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました。

2016年9月12日



【座談会シリーズ終了】

先週を最後に、全8回の座談会が終わりました。2度の参加者ゼロによる中止(笑)を乗り越え、広面・東地区の8カ所で計約60名の皆さんと意見交換や活動報告を行うことができました。

どこへでも出張いたしますので、文化施設の最新情報を知りたい、または県政へ物申したい！など関心のある方は気軽にお声がけください！



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました



場所: 秋田キャッスルホテル

2016年9月15日・秋田県秋田県 秋田市

【全国情報産業大会 in 秋田】

ANIA(全国地域情報産業団体連合会)の全国大会が秋田キャッスルホテルで開催されております！

ICTで考えよう地方創生

地方から世界へ

ICT県議としては興奮にうち震えてしまうキャッチコピー(笑)

千里の道も一歩から...得意分野ではなかったのですが、勉強がんばります(´_`)





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —

鈴木 健太さんと📍アグラ広場にいます。

2016年9月17日・秋田県秋田県 秋田市・📍

【UNDER THE SUN】

NEXT5 による野外日本酒イベント、すごい人でした！

『男鹿のやきそばってジビエですか？オスの鹿の肉入ってるんですね』...
(^_^)！

男鹿半島を知らなくても、はるばる名古屋から秋田の酒のために来てくれた女性。台湾からのバイヤーも訪れ、世界のNAKATAまでも駆けつけてくれる秋田のSAKE！ついに本領を発揮し始めております。

絶対もっとお客さん呼べます。



秋田県議会議員 鈴木健太

2016年9月24日・📍

【県が外国人宿泊数の地域別目標を設定しました】

9月議会が開会中です。

私の所属する産業観光委員会ではインバウンド関連や文化施設など議論が盛りだくさんです。その中でも私の注目は、外国人宿泊数の地域別目標設定。

県全体の目標としていた

H26 41,510人泊



H31 100,000人泊

を達成するため、7つの地区ごとに割りふりました。

例えば秋田・男鹿地域は14,940人泊であったのを、5年間で3万人泊に倍増しなければなりません。

全体目標を部門や期間ごとに区分して必成を期する...民間企業では当たり前のことですが、行政はとても嫌います。これをしつこく求め続け、さらに6月議会で経営者でもある先輩議員がガツンと言ってくれたおかげで、やっと動きました。

私からは、定めた以上はこれを各地域の各事業者徹底周知させて県の本気度を見せつけること、そしてこれから1年ずつ達成状況をチェックしてPDCAをしっかりと機能させることを求めました。

行政側はいつも『民間が消極的だからなかなか進まない』と言いますが、来る可能性の低い外国人客のために大きな投資ができないのはビジネスとして当たり前のことでしょう。だからこそこうした明確な目標をまず提示し、しかも今回は言うだけでなく本気みたいだぞ！と思わせることが必要だと思います。

宿泊、飲食、物販などなど観光関連産業の皆さん、今から3年で秋田の外国人客を倍にします。みんなで一歩踏み出して、相乗効果を生みましょう！！

外国人延べ宿泊者数の地域別目標値について

観光振興課

1. 現状（平成26年）

（単位：人泊）

地域	外国人延べ宿泊者数（※） （構成比）	台湾	韓国	中国	香港	タイ	その他	特 徴
鹿 角	7,980 (19.2%)	4,760	623	164	43	18	2,372	・東北両道型旅行商品の宿泊拠点地域の一つ
北秋田	1,530 (3.7%)	43	200	347	5	24	911	・内陸部の観光客が地域の宿泊に結びついていない
山 本	1,760 (4.2%)	21	1,295	121	47	5	271	・韓国からのゴルフ商品以外の商品設定が少ない
秋田・男鹿	14,940 (36.0%)	3,880	3,674	1,371	400	253	5,362	・秋田市ではF I T層が多く、男鹿市では台湾等の団体ツアー利用が多い
由 利	5,542 (13.4%)	1,428	753	2,161	16	24	1,160	・中国との自治体交流等による宿泊が多い
仙 北	8,024 (19.3%)	1,643	1,763	138	541	216	3,723	・団体ツアーの設定が多くF I T層も増加傾向
横手・湯沢	1,734 (4.2%)	208	79	253	164	0	1,030	・団体ツアーを受け入れられる宿泊施設が少ない
合 計	41,510 (100%)	11,983	8,387	4,555	1,216	540	14,829	

※地域別・国籍別の内訳は、「宿泊旅行統計調査」の数値等をもとにした推計値

2. 地域別目標値（平成31年）

（単位：人泊）

地域	目標値	主な対象市場	取組の方向性
鹿 角	18,000	台湾、香港、中国、欧米	・函館と仙台を結ぶ団体ツアーの積極的な誘致 ・十和田八幡平国立公園演習プロジェクトとの連携強化
北秋田	5,000	台湾、香港、タイ、欧米	・台湾等のF I T層をターゲットに、内陸線と秋田犬をキラーコンテンツとした誘客対策の実施
山 本	5,000	韓国、台湾、欧米	・世界自然遺産「白神山地」を生かしたPRと、トレッキング等の体験プログラムの充実によるF I T層の誘致
秋田・男鹿	30,000	台湾、韓国、香港、欧米	・F I T層の誘致に向けた、秋田市まち歩き観光の充実と、地域間連携による受入態勢（2次アクセス等）の整備
由 利	10,000	台湾、韓国、タイ、中国	・環鳥海エリアの連携強化による団体ツアーの造成拡大 ・鳥海山麓の自然資源を活用した体験プログラムの充実
仙 北	26,000	台湾、香港、韓国、タイ、中国、欧米	・対象市場の特性に応じたきめ細かなプロモーション展開 ・農家民宿と温泉宿泊施設等との連携による商品の拡充 ・F I T層の増加に対応した受入態勢づくりの推進
横手・湯沢	6,000	台湾、香港、欧米	・F I T層をターゲットに、温泉宿泊施設の誘客対策の強化と受入態勢づくりの推進
合 計	100,000		



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件を追加しました。

2016年10月4日

【総括審査おわりました】

予算特別委員会での総括審査(初挑戦)がおわりました...

①ネットいじめ対策

誹謗中傷、『さらし』やおバカ投稿など子どもによる(大人もありますが汗)不適切事案をしっかりと監視する『学校ネットパトロール事業』の予算削減が続いております。LINEなどのクローズドなSNSにいじめの現場は移っている、だからオープンで監視可能な事案は減少しているというのが理由のようです。

...いやしかし。実物を見れば痛感しますが、オープンソースにおける被害はその子の人生に致命的・半永久的なダメージを与えることがあります。その深刻さを訴え、性急な削減を思い止まるよう強く求めました。

②ラウンドアバウトの導入

県内1900ヶ所あまりの交通信号機は老朽化し、その更新費用に毎年3億円以上が使われます。また県内の交差点には土地にも余裕があり、交通量もさほどではない郊外の交差点が無数にあります。

環状交差点(ラウンドアバウト)は老朽化による機器の更新費用、電気代や通信料がかかりません。持続可能な新エネルギー県、『高質な田舎』にふさわしい交差点形態として、信号機更新の際には導入できないかどうか検討をしてほしいと求めました。私の試算では一般的な信号機1ヶ所あたり毎年37万円が失われており、30年すれば1,000万円を超えます。未来への投資だと思えば悪い話ではないはずです。

録画中継(10月4日分その1の39'00頃～)

モチャモチャしゃべってますね...改善します...



<http://smart.discussvision.net/.../pre.../WebView/sp/list2.html...>



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました。

2016年10月10日 · 🌐

【人が集まる理由】

9月議会も終わったところで、九州北部三県の『勝手に人が集まる場所』を見に来ました。なんで自分はここに来たいと思ったのか深く考えてみて、行政の苦手な『集客』のヒントとすべく...

- ・ハウステンボスにある『変なホテル』ではスタッフの姿が見えません。受付ではアンドロイドの美女と恐竜が出迎え、自走草刈機が庭を手入れし、ロボットアームで荷物をロッカーに預けてくれます。斬新なネーミングも相まって大人気となり、新棟も建設予定となっています。

- ・ヤフオクドームでのCS第2戦ではプロ野球の圧倒的な集客力！つつい720億円のドームに目がいきってしまうんですが、何万人もの人々を年間70試合も、しかも曜日関係なく集めるこの力あってこそそのハコモノだと痛感...ちなみに所有者は球団、福岡市の人口は155万人です。JリーグやBリーグは、プロ野球に手の届かない地方都市の市民にとって、いろんな理屈は抜きで盛り上げてほしいコンテンツですね。

- ・なんで少々疲れてても中洲の屋台に来てしまったのか...？失礼ながら一般のお店よりズバ抜けて美味しいとか安いとかではありません。地元の人よりも観光客が多い感じだってことは、せっかく博多に来たんだから行って見るか、つまりブランド力なのでしょうか？はるばる東北から来た私の場合はそれでした。

・武雄の図書館は老若男女でいっぱい...デザインが洗練されてお洒落な空間だってことは、立地やコンテンツと並んで大切な要素ですね。いろいろ弊害も言われていますが、こと『人を集める』ことに関しては完全に成功しています。少子高齢化の中で何を求めるのか？何を守って何を変えていくのか？全会一致がありえないテーマに立ち向かうのが、政治の大変かつ面白いところですね(˘ω˘)



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件、動画1件を追加しました — 場所: 根子

2016年10月16日

【根子番楽～特別公演～】

北秋田市阿仁根子(あにねっこ)に古くから伝わる『根子番楽』の特別公演を観てまいりました。

国の重要無形民俗文化財。番楽のなかでも古式を色濃く残すものとして評価が高いのですが、トンネル一本で外界とつながる過疎集落のため...小学校がなくなって18年にもなり、伝承が危ぶまれています。

初めて実物を観ましたが、多いときでも100世帯程度だったこの集落でこれが引き継がれてきたというのはとても信じられません。まずは多くの方に関心を持っていただき、こういう機会に観に来てもらえればなあと思います。毎年決まって8月14日に定期公演を行なっております。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真5件を追加しました

場所: ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社 向
浜発電所

2016年10月26日・秋田県秋田県 秋田市・

【文化施設についての公開討論】

今夜は先輩議員である三浦茂人県議(会派みらい)と、あるNPO主催の討論会に臨みました。

意見の異なる方との討論は勉強になります...自分の言いたいことは話せましたが、聞き手のレベルが高すぎて大変でした(^^)

昼間は秋田市向浜に新設された木質バイオマス発電所を視察。20MWの東北トップクラスの規模を誇りながら、県内未利用材(間伐材)の総産出量をにらんで持続可能なエネルギー生産を目指しています。自動化が進み発電所自体は閑散としていますが、切り出し～加工～運搬と1次、2次産業への経済・雇用効果は大きいです。



秋田県議会議員 鈴木健太さん (大潟村村民センター)。

2016年10月27日・

今日は朝から子どものネットセーフティを守る『地域サポーター養成講座』の様子を見に来ました。

先日私が質問で取り上げた学校ネットパトロールを『監視事業』とすれば、こちらは『予防事業』。ネットに詳しい大人をふやすことで、家庭や学校での指導力を強化し、ネットいじめやいわゆるおバカ投稿を未然に防ごうというものです。

専門家を招いての講演内容はレベルも高くわかりやすいですが...問題はこの意識の高い(数人の)受講者さんから、知識をどうやって他の大人に広めるかです。行政にありがちな『やることはやった』けど最終結果までは結びつかない、というような自己満足施策にならないよう、しっかりと働きかけていきたいと思います。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件、動画1件を追加しました — 鈴木 健太さんと📍 大館樹海ドームにいます。

2016年10月30日・秋田県秋田県 大館市・📍

【新・秋田の行事&肉博、同時開催】

秋田の伝統芸能が一堂に集う『新・秋田の行事』を見にきました。ちょうどわが秋田市代表、土崎神明社祭曳山がやっていてラッキー(☺️)台湾からの参加団体やツアー客も見られ大変なにぎわいでした。

またドーム前の広場では『肉博』が同時開催されており、こちらも大繁盛。しかし会場周辺の渋滞に巻き込まれ、新文化施設の駐車場構想を思い出して問題意識を新たにしました...

たまたま大館の秋田犬ツーリズムを強力に推し進める福原市長とお会いでき、観光による秋田おこしについて若手の団結を確認しました(´_`)ゞ



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件を追加しました — 場所: 📍 男鹿半島

2016年11月4日・📍

【『あなたの街で県議会』の意義】

1日に開かれた男鹿市での『あなたの街の県議会』に参加してまいりました。これは県内各地に議員がほぼ総出で出向いてとことん地域のご意見を聴くというものです。

今回は地元の若手農家がチームで来てくれていました。そのうち勇気ある若者が写真まで持ち出してキク枯れ被害の現状を報告し、予冷庫の必要性を訴えた熱意が通じて会場からは激励の拍手が...農林水産委員会の正副委員長も大変前向きな発言をしました。

やはり一堂に会した県議に直接声を届けることの意義は大きいです。今年の最終回は25日、能代ですのでみなさんお越し下さい！





秋田県議会議員 鈴木健太

2016年11月9日・🌐

保護主義の台頭...

グローバリズムの終焉...

政治学とか歴史学とか的にはいろいろな分析がなされるのですが、現実世界に責任を負う政権は間違いのない舵取りをしていかねばなりません。

たとえばTPP。

まさかの状況変化に際し、改めて議論しなければならないことは多いはずですが...

もちろん担当大臣の軽率な発言は反省すべきことですが、それで「大臣やめなきゃ審議しない」とやっている場合ではない。

<http://www3.nhk.or.jp/n.../html/20161109/k10010762331000.html...>

米大統領選 トランプ氏が勝利 | NHKニュース

アメリカ大統領選挙は投票が行われた結果、共和党のトランプ氏が勝利しました。過激な発言で話題を集めてきたトランプ氏は、政治家として公職に就いた...

WWW3.NHK.OR.JP | 作成: 日本放送協会



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真3件、動画1件を追加しました — 場所: 📍 田沢湖畔

2016年11月13日・🌐

【自動運転バスの公道走行実験】

レベル4(完全無人運転)による自動運転バスの、全国初となる公道での自動走行実証試験を見にまいりました。

山本地方創生担当大臣やDeNAの中島執行役員のご参加のもと行われた歴史的瞬間。市長は2020年までに田沢湖畔での巡回観光バス実用化を目指すと言言しました。そして自身はカバンと帽子を着用し『近未来のサラリーマン』として通勤に自動運転バスを利用するイメージを演出...

私も単に観光地利用にとどまらず、県民の日常交通を変革したいと思っているので大変感心し、期待に胸が膨らみました。





秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真2件を追加しました —

場所: 都市センターホテル

2016年11月16日・東京都東京都 千代田区・

【災害時の議会の役割とは】

全国都道府県議会議員全国研究大会に来ております。党派を問わず500人以上の都道府県議会議員が集まり、様々なテーマについて勉強しましたが、その中でも印象に残ったのが『災害時における議会の役割』。

自治体の防災計画にもあまり登場しないのが議会や議員...正直言ってあまり期待されていない?のが現実です。今回はそこで議会が果たすべき役割や議会自体のBCPについて学びました。特に人命救助が最優先される防災直後の72時間は、議員は地元の要望を申し入れたり情報提供を求めたり、災害対応に追われる行政の邪魔をしてはならない!との言葉に納得。役に立ちたい気持ちはわかるが、あくまで行政のサポートに徹するのが議会であると再確認しました。元自衛官としては忸怩たるものがありますが...(T_T)



秋田県議会議員 鈴木健太

2016年11月30日・

やはり!

前から強く感じていた...

『秋田の子どもはいい子ばかりだな』

が数字で現れたようです。

この子たちにふさわしい地域を作っていかなければ、と改めて痛感しました。

<http://president.jp/articles/-/20705?display=b>

docomo 16:40 78%

president.jp シェア

PRESIDENT Online

秋田の子の道徳力がすごいことになっている!

都道府県別にみると、どの項目も肯定率にバラツキがあります。表1は、47都道府県中の最高値と最低値を掲げたものです。

表1 都道府県別の公立小学校6年生の道徳意識

	最高値	最低値
①学校のきまりを守っているか	50.1% (愛媛)	32.2% (大阪)
②友達との約束を守っているか	74.4% (秋田)	59.9% (沖縄)
③人の気持ちが分かる人間になりたいか	79.7% (秋田)	71.0% (福島)
④いじめはいけなことだと思うか	87.6% (秋田)	77.9% (福島)
⑤人の役に立つ人間になりたいか	79.0% (秋田)	68.6% (宮城)

※「育てはまる」の調査割合である。
 ※文科省「全国学力・学習状況調査」(2014年度)より筆者作成。

秋田はすごい。4項目の肯定率がトップで...



秋田県議会議員 鈴木健太

2016年12月22日 16:01



【文化施設について】

本日の採決に、賛成いたしました。

最大会派の中で何も言えなくて賛成したのではなく、納得いくまで発言させていただき、条件を付することなどの意見を取り入れていただいた上で、自らの意思として賛成しました。結果的には共産党を除く全ての会派から賛成議員が出て、多数で可決されました。

こちらで私の考えを明らかにしておきます。

まず昨日のさきがけ朝刊に掲載されたアンケートで私は次のように回答しました(20日14時頃)。

Q1 県市連携での整備には賛成か？

A. 「賛成」 理由：20～30年先の人口規模を考えると、同地域にある同種の公共施設を整理統合していくことには大きな意義があるから。

Q2 和洋高校敷地の駐車場利用には賛成か？

A. 「未定」 理由：敷地の所有権を取得することと、駐車場のみとしてではなく一体的に土地を利用することを条件として賛成する。

11月になって初めて明らかにされた和洋高校敷地の活用案は、「20億かけて200台の駐車場」という衝撃的なフレーズとともに、自民党会派内でも猛烈な反対論を巻き起こしました。県と市の持ち出しは計8～9億だとはいえ、また副次的効果として老朽化した私立高校を低予算で再整備できるとはいえ、行政側と県民の金銭感覚の違いが明らかになったものだと思います。

私も当初これには反発しましたが、当局・会派内での意見交換の結果、条件を付した上で会派の決定（賛成）を尊重することといたしました。以下に判断の理由を記します。

①財源、周辺への経済効果、秋田市の中心市街地活性化計画におけるゾーニングなどから考えると、建設地は現在地案以外に考えにくい。面積が不足している等の反対意見もあるが、昨年9月に現在地案が発表されて以来、現実的な対案への意見集約には至っておらず、建設地についての議論を延長する意義は大きくない。

②現地建て替え案の課題である「駐車場不足」の指摘を受け和洋高校案(ちなみに今反対の急先鋒となっている野党議員自らの提案...)が出てきたが、あまりに多額の費用をかけて駐車場のみを整備するのでは県民の理解を得られない。しかしながら建設敷地と一体として利用し、よりゆとりのある施設配置とするのであれば、現在地案の「狭い」という欠点を克服できる有用な支出と考えることは可能である。両敷地の間の土手は、北側半分には保存樹もなくコンクリートで固められているなどしており、取り壊して失われる文化財的な価値はほとんどない。よって、両敷地の少なくとも北側半分は一体的に利用でき、設計配置の自由度を高めてはるかに使い勝手のよい施設が検討可能となる。

③複数の議員が指摘した抵当権実行のリスクは、本件の場合は決して大きくないがゼロではない。したがって土地の買取り（当然に抵当権等は抹消される）を前提とするならばそれらをクリアできるし、将来の長期にわたる賃料負担も免れることができる。「多額の移転補償をしても借地」という批判に対しては最低限応えることができる。

④今回の議会で可決されなければ、12月末とされている秋田市中心市街地活性化計画の申請期限に間に合わず、文化施設だけでなく駅前再開発など各民間事業の遅滞・中止など広範な影響を及ぼしてしまう。これについては県当局のスケジュールリングと情報開示に大きな問題があった。つまり「間に合わないから決めてください」などと言うのであれば、もっと早く議会で取り上げなければならなかった。

とはいえ全ては後の祭りである。上記①のとおりこれから全く異なる建設地案にまとまる可能性がほとんどない以上は、短い審議期間に不満はあるが、上記②③を条件として原案に賛成せざるをえない、と判断するに至った。



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真4件を追加しました —

場所: 📍 秋田市役所

1月7日 11:21 · 秋田県秋田県 秋田市 · 🌐

【秋田市の消防出初式】

本日は朝から消防出初式に参加しました。去年は少し吹雪いて寒かったので、今年は活動服の下にバッチリ着込んで臨みましたが天気は上々。糸魚川の大火も記憶に新しいところ、同じ風の強い雪国である秋田の皆様、くれぐれも火の用心でお願いいたしますm(_ _)m



秋田県議会議員 鈴木健太さんが写真12件を追加しました — 場

所: 📍 ジャカルタ

1月14日

【ジャカルタ弾丸視察】

いくつかのテーマをもって、インドネシア・ジャカルタを見てまいりました。やはり外に出ねばならないと痛感。

- ①インドネシア市場の概要と秋田からの進出可能性
- ②世界一の交通渋滞とUberはじめ交通イノベーションの現状
- ③進出を果たした秋田の企業の事業所
- ④タイに進出したミライガーのインドネシア展開の可能性

人口2億6,000万人、平均年齢28才のインドネシアは毎年500万人ずつ人口が増えています。首都ジャカルタだけで1,000万人。イスラム国家ですが親日的で、中間層・富裕層の増加が著しい、高度成長期の真只中。そんなところを見て、いろいろな人に接し、人口減の秋田に思いを巡らしていると、小さな空間でこれからの時代にビジネスを続けていくことに対して少し不安を感じてしまいます。

そんなインドネシアに、秋田の誇るサーバー屋さんが漫画喫茶をOPEN。なんでまた漫画喫茶...(笑)と初めは思いましたが、行ってみたら貸し事務所とコワーキングスペースにマンキツを併設したものでした。この意義は秋田のビジネスマンにとって限りなく大きいのです。なぜなら、インドネシアに進出したいけど何もわからない、現地にコネもない...という秋田のチャレンジャーが、いきなり渡航して「とりあえず駆け込む」場所ができたということ！秋田にゆかりのある会社が経営していて、しかも現地でビジネスに精通した日本人代表者が出迎えてくれるということなのです。

法制度などのハードルは決して低くありませんが、超えた人はいます。日本の文化と品質への好感度も高いので、飲食やITなどのサービス業はまだまだいける感じがしました。私にも現地に多くの頼れる知人ができましたので、チャレンジしたい方はお声がけください！

ハイレベルなITトークは6割くらいわかるようになりました(*_*)



郊外への鉄道建設、中心地での地下鉄工事が急ピッチです。日系企業に任せておけば間違いのないです。



1つ1つのビルがでかい。そして次々に増えています。



これはバス専用レーン。BRT と言えるのですかね…ブロック置いただけの低コスト整備です。



郊外の工場団地には日系企業がゴロゴロ。そしてまだまだ増殖中。



聞きしに勝る大渋滞…空いてれば15分のところに1時間とかザラ。すごい経済損失です。



いきなり大繁盛。人口がいるのでロカルに受ければ勝ちですね。



おしゃれな空間、その名もBASE。秋田のベンチャーのたまり場になってほしい。



インフラが未熟なので日系のデータセンターへの期待は大きそうです。拡張を見越した設計に、成長市場の楽しさを感じました。



工場団地のすぐそばには、開発に取り残された昔ながらの村が…



日本人向けスーパー。残念ながら秋田産品は見つけれず！



Uber と現地資本の GOJEK がかなり普及しています。ジャカルタ市街地では沢山いて便利。

